

全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

～2009年10-12月期実績、2010年1-3月期および4-6月期見通し～

『中小企業の景況は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、持ち直しの勢いは緩やかなものにとどまっている』

日本政策金融公庫・総合研究所は、1月21日「全国中小企業動向調査結果(2009年12月期実績、2010年1-3月期以降見通し)」を発表した。

「全国中小企業動向調査結果」によると、2009年10-12月までの中小企業の景況は、「一部に持ち直しの動きがみられるものの、持ち直しの勢いは緩やかなものにとどまっている」との調査結果報告がなされた。

今回調査のポイント

- ① 業況判断DI**
マイナス幅は縮小しているものの、低い水準にとどまっている。
- ② 売上げDI**
マイナス幅は縮小しているものの、非常に低い水準にとどまっている。
- ③ 価格DI**
販売価格DI、仕入価格DIともにマイナスが続いている。
- ④ 純益率DI**
マイナス幅は縮小しているものの、低い水準にとどまっている。
- ⑤ 従業員DI**
非常に低い水準が続いている。
- ⑥ 設備投資実施企業割合**
極めて低い水準が続いている。

動き1

業況判断DI

▲48.8
↓
▼39.2

UP

マイナス幅は縮小するも、低い水準。先行きも低い水準にとどまる見通し。

現状

業況判断DI(前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)は、マイナス幅は3期連続で縮小しているものの、▲39.2と低い水準にとどまっている。

見通し

先行きについては、マイナス幅が縮小するものの、依然として低い水準にとどまる見通しとなっている。

DATA

- 調査時点
2009年12月中・下旬
- 調査対象
当公庫中小企業事業取引先 12,709社
- 有効回答企業数
5,677社(回答率44.7%)

DI(デフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合の差をDIとしています。DIは基本的に「変化の方向」を表すものです。

動き2

業種別業況判断

- 製造業・機械関連業種を中心にマイナス幅が縮小。
- 非製造業・小売業、サービス業などでマイナス幅が拡大。

製造業

製造業では、自動車部品や電子部品・デバイスなどで、マイナス幅が大幅に縮小している一方、繊維・繊維製品や木材・木製品などの内需関連業種では、マイナス幅が拡大している。

非製造業

非製造業では、小売業・サービス業、飲食宿泊業でマイナス幅が拡大している。先行きについては、運送業などの物流関連業種でマイナス幅が縮小する一方、建設業などでマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

動き3

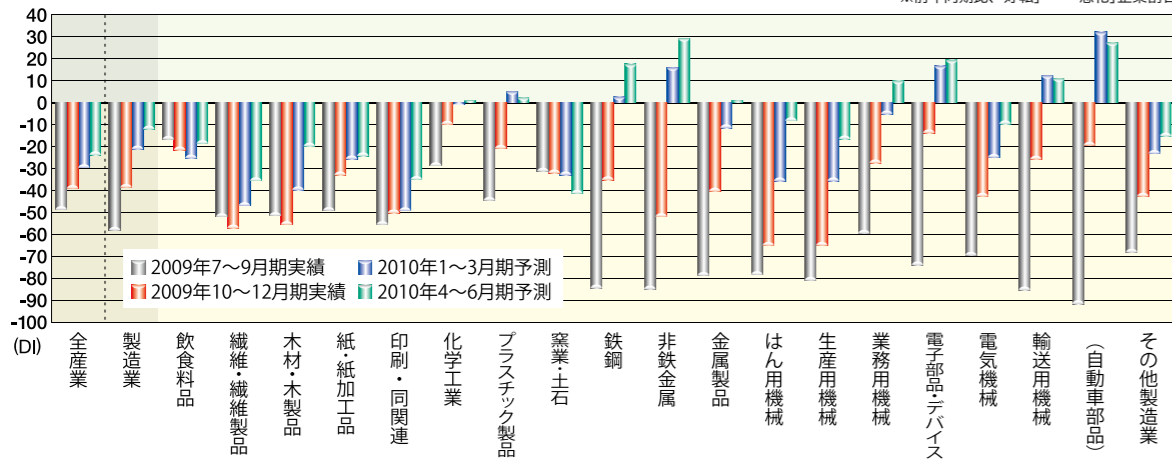
地域別業況判断

全ての地域で低い水準が続く。

全ての地域でマイナス幅が縮小しているものの、依然として比較的大きなマイナスが続いている。先行きについては、回答企業のうち機械関連の占める割合が大きい東海、関東などでマイナス幅が縮小している。一方、建設業などの内需関連の割合が大きい北海道や東北ではマイナス幅の拡大を見込んでいる。

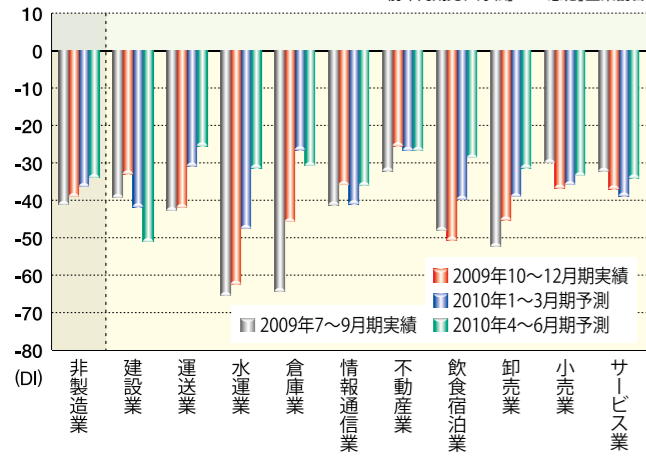
製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



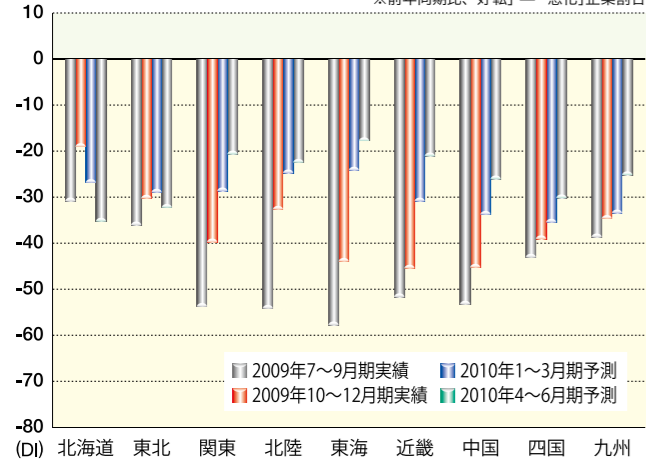
非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



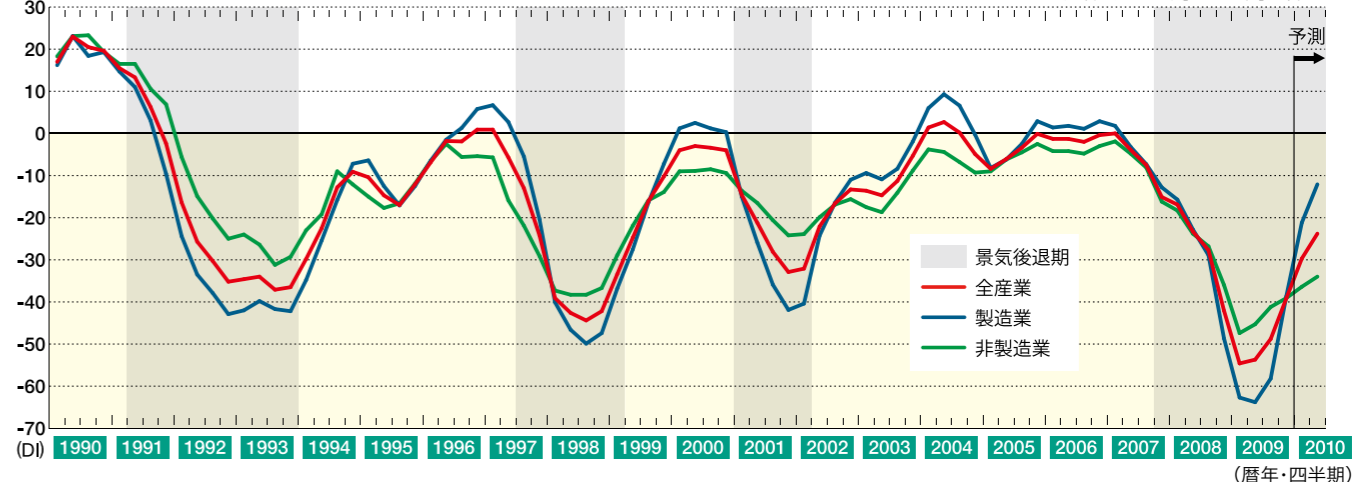
地域別業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合

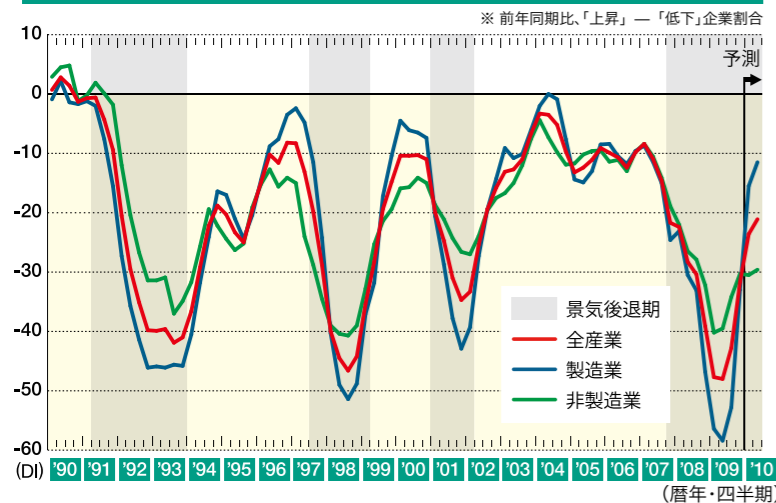


業況判断DIの推移<季節調整値>

※前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合



純益率DIの推移<季節調整値>

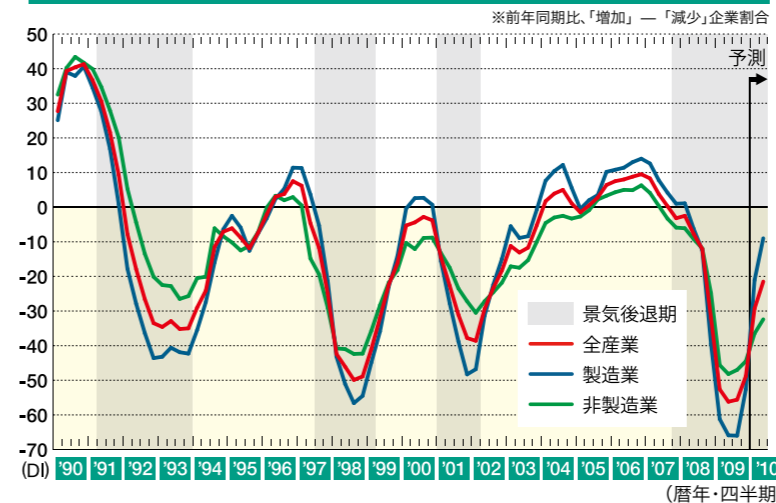


純益率DI(前年同期比、「上昇」―「低下」)企業割合は、マイナス幅は2期連続で縮小しているものの、低い水準にとどまっている。先行きについては、マイナス幅が縮小するものの、依然として低い水準にとどまる見通しとなっている。

動き7
利益
▲42.8
▼31.7
UP

マイナス幅は縮小するも、低い水準。

売上げDIの推移<季節調整値>

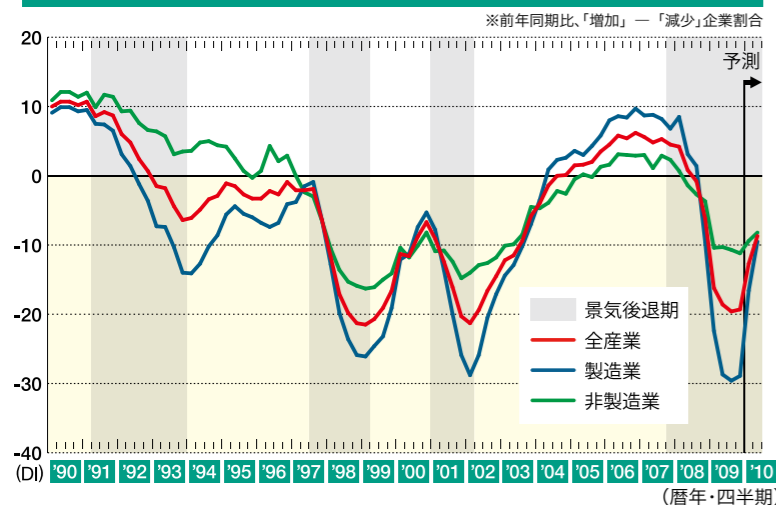


売上げDI(前年同期比、「増加」―「減少」)企業割合は、マイナス幅は2期連続で縮小しているものの、▲48.8と非常に低い水準が続いている。先行きについては、マイナス幅が縮小するものの、依然として低い水準にとどまる見通しとなっている。

動き4
売上げ
▲55.6
▼48.8
UP

マイナス幅は縮小するも、非常に低い水準。

従業員DIの推移<季節調整値>



従業員DI(前年同期比、「増加」―「減少」)企業割合は、▲19.3となり、マイナスに転じた2008年7-9月期以来のマイナス幅縮小であるが、依然として非常に低い水準が続いている。

動き8
雇用
▲19.6
▼19.3
UP

非常に低い水準が続く。

全国中小企業動向調査(中小企業編)について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、当公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3ヵ月ごとに行っている調査です。調査結果については、中小企業分野において我が国を代表するビジネスサーベイのひとつとして、関係各位から高い評価を得ています。

仕入価格DI(前年同期比、「上昇」―「低下」)企業割合は、3期連続でマイナスとなり、マイナス幅は拡大している。先行きもマイナスが続く見通しとなっている。

動き6
仕入価格
▲13.9
▼17.1
DOWN

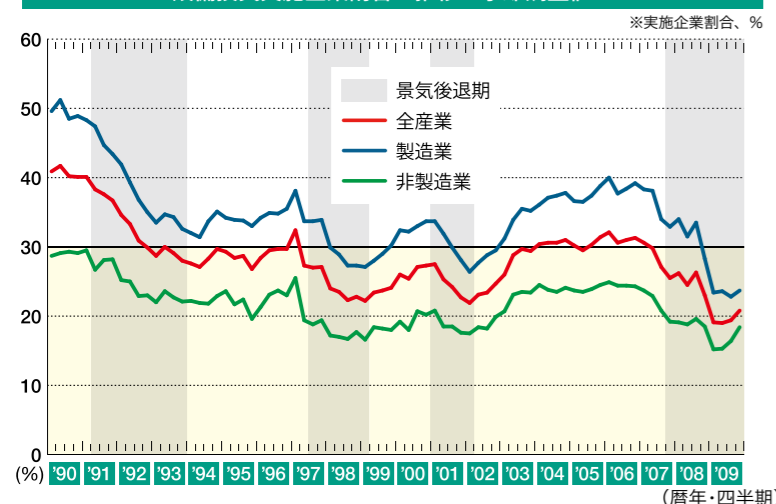
マイナスが続く。

販売価格DI(前年同期比、「上昇」―「低下」)企業割合は、4期連続でマイナス幅が拡大した。先行きも大幅なマイナスが続く見通しとなっている。

動き5
販売価格
▲38.7
▼41.4
DOWN

大幅なマイナスが続く。

設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>



設備投資実施企業割合は20.8%となり、過去最低を記録した2009年4-6月期(19.0%)からやや改善したものの、4期連続で20%近辺の極めて低い水準が続いている。

動き9
設備投資実施企業割合
▲19.4%
▼20.8%
UP

極めて低い水準が続く。

価格関連DIの推移<原数値>

